



■安全管理ツールについて

8月3日付にて、安全管理委員会より加盟会員・事業所へ、クラブ・スクールの安全管理の基本となるツールを送付させていただきました。

～送付内容～

※以下のファイルはJTIAのホームページからも確認やダウンロードが可能です。

<http://www.jtia-tennis.com/system/safety>

1. テニス事業施設における安全管理マニュアル

マニュアルをお読みいただき、安全管理に関する概要および必要項目をご確認ください。

2. 安全管理セルフチェックシート

自施設における安全管理体制の現状は、セルフチェックシートにてご確認ください。

3. 近隣病院一覧（フォーム）

事故発生は予測できません。緊急時の対応が滞らないよう、近隣病院一覧を施設内に掲示しましょう。記載の提携病院とは連絡の取りやすい関係を構築しておけば、より安心です。

これらのツールは安全体制構築の第一歩となるものです。ぜひご活用ください。安全管理委員会では、今後も定期的にツール・情報を発信する予定です。

■安全管理、最初の一步

上記の安全管理ツールによる安全管理体制の構築には多少の手間と時間が掛かるかもしれませんが、しかし事故発生はそれを待ってはくれません。まず出来ることから一歩目を踏み出してみましょう。

* 始業時チェックを実施しましょう

オープン前に施設点検をしましょう。ネットが切れていないか、フェンスは壊れていないか、コートサーフェースに不具合は無いかなど、毎朝、施設の不備をチェックしましょう。

チェックシートを作っておくと、漏れも無く、チェックも簡単になります。施設不備による事故は過失割合が大きく問われる可能性が高くなります。細かな不具合も速やかに発見・対処が必要です。

* 5Sを取り入れましょう。

5Sとは「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の5つのSを頭文字とした項目を管理整備する手法です。

これらの項目を常に意識、向上させることで、問題点や不備の発見が容易になり、施設の整備が行き届きます。お客様へのサービス向上と事故防止の両面に効果があります。

* 日報をつけましょう。

運営日報やレッスン日報など、その日の業務記録を残しましょう。レッスンについては1レッスン毎に記録を残すことを推奨します。また運営日報については、フロントスタッフの記入する業務日報などを設けると、レッスン日報とあわせて、全体把握が容易になります。これらは連携・連絡のミスを軽減するだけでなく、万が一、事故による訴訟などの場合にも運営管理状況の資料となる可能性がございます。

安全管理は日々の積み重ねです。 まずは第一歩を！

気をつけましょう！この季節

クラブ・スクールともに、盛夏を避け休会されたり、プレー頻度を下げていた方が、秋の到来とともに復会されるケースが増えてきます。

過度な負荷の掛かるプレーは、肉離れやアキレス腱断裂などの筋肉系の事故につながります。一気に過激なプレーをすることは避け、徐々に体を慣らしていくようにアドバイスしましょう。

秋らしい心地よい空気の下でも、油断は禁物です。

知っていますか？

普及率の上ってきたAED（自動体外式除細動器）ですが、電極パッドには消費期限があります。

工場出荷時からおよそ1年半がその期限です。消費期限は電極パッドのパッケージに表示されていますので、確認してください。

期限切れパッドは速やかに交換しましょう。必要な時に正しく機能するよう日頃からの注意が必要です。

■安全管理委員会活動報告

7月22日 JTIA会議室において、安全管理委員会会議を実施しました。（出席者：雑賀会長・金田彰委員長・渋川博美・古賀裕一・野田照彦・白倉明博・境敬行・冨塚拓彦/事務局：加藤・増田）

～会議議事～

1. 委員会活動・方向性の確認。
2. 安全管理ツール作成・配布等について取り決めた。（第1回ツール配布を実施）
3. その他、事故例の検証法などについて議論された。